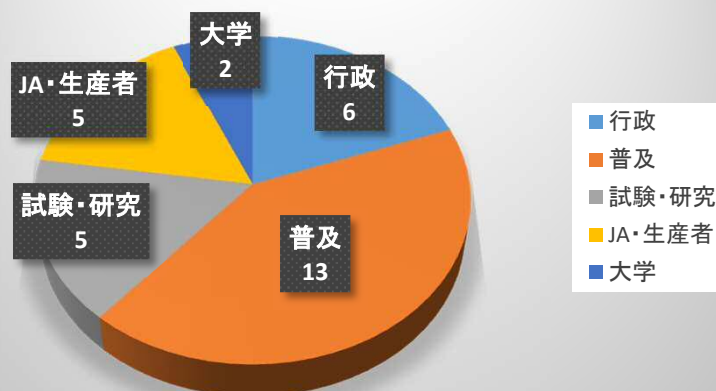


「令和3年度果樹産地生産性向上セミナー」アンケート集計表

令和4年2月10日(木)、Web方式により開催した標記セミナーについて、アンケートを実施した。
Webでは47回線を使用し、28回線・31参加者より回答があった。(回答率60%)

注: 数値はアンケートの回答数である。(単位: 回答者数)

アンケート回答者の者属性

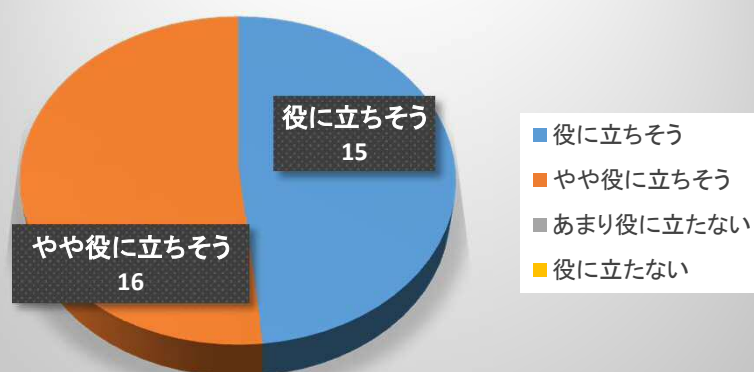


【参加者の属性について】 (アンケートの回答者に限る)

○新型コロナウイルス感染症拡大防止並びに回線数使用制限の関係上、主に各県普及担当者等を参加者として案内したところ。

○このため、行政職、普及担当、試験・研究職等各県関係者で24者(77%)を占めた。

テーマの妥当性

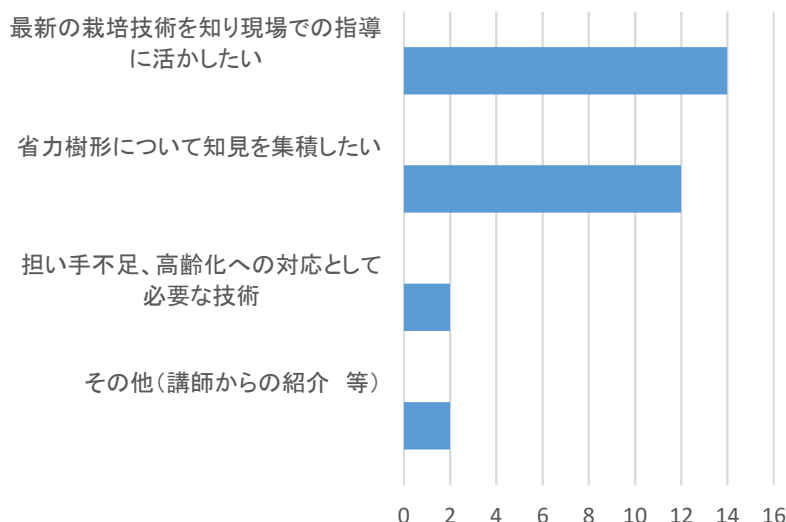


【テーマの妥当性について】

○今回のセミナーは労働生産性向上の技術導入を図る観点から、「省力樹形」をKeywordに実施したところ。

○このテーマの妥当性について、「役に立ちそう」、「やや役に立ちそう」と、すべて肯定的な回答であった。

セミナーに参加された動機や期待について

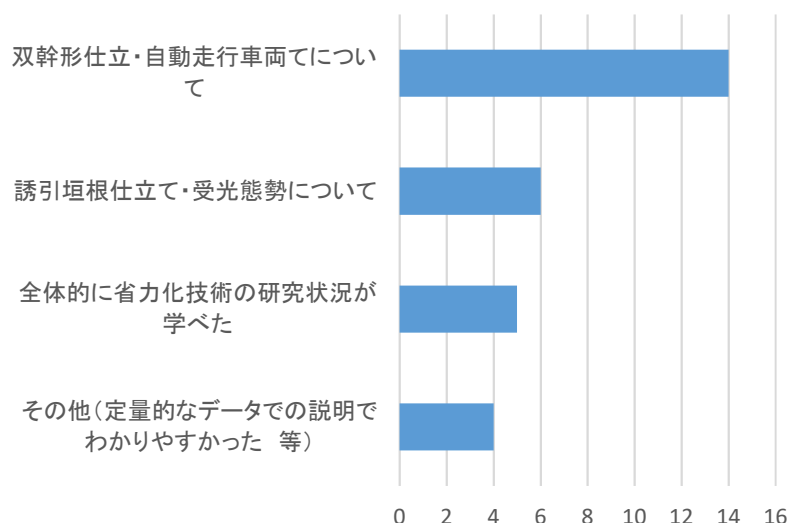


【本セミナーに参加した動機や、期待について】

○「最新の栽培技術を学び、現場での指導や果樹行政に活かしたい」との回答が最も多く、次に「特に省力樹形について知りたい」との回答であった。

○また、「高齢化が進む中、省力化技術の導入は不可欠」ということで、新技術の知見を得たい等の回答があった。

セミナーで印象深い講演や、その理由



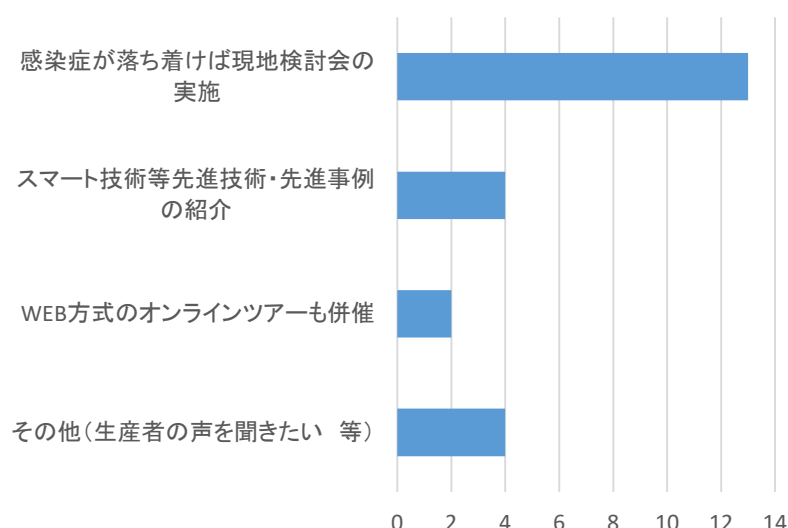
【本セミナーでの印象深い講演や、その理由について】

○「双幹形仕立て」及びその仕立て方により更なる省力化が期待される「自動走行車両の開発状況」についてへの回答が最も多かった。

○「誘引垣根仕立て」については、「受光態勢」の発表に興味を寄せる回答が多かった。

○その他、「定量的な説明で分かりやすかった」との回答であった。

本セミナーをより充実させるため必要なこと



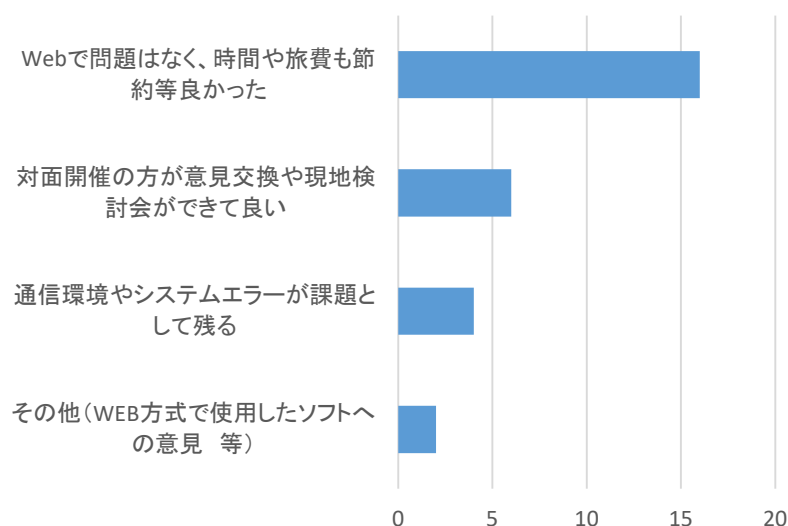
【本セミナーをより充実させるため必要なことについて】

○実際の樹形が見られ、直接意見交換が可能な「現地検討会の実施」を望む声が最も多かった。

○次に、省力化や労働力確保、高齢化への対応に必要な「スマート農業や先進的技術導入」について紹介して欲しいとの提案だった。

○その他、新技術等を導入した「生産者の生の声を聞きたい」との提案が寄せられた。

Web方式での開催についての感想



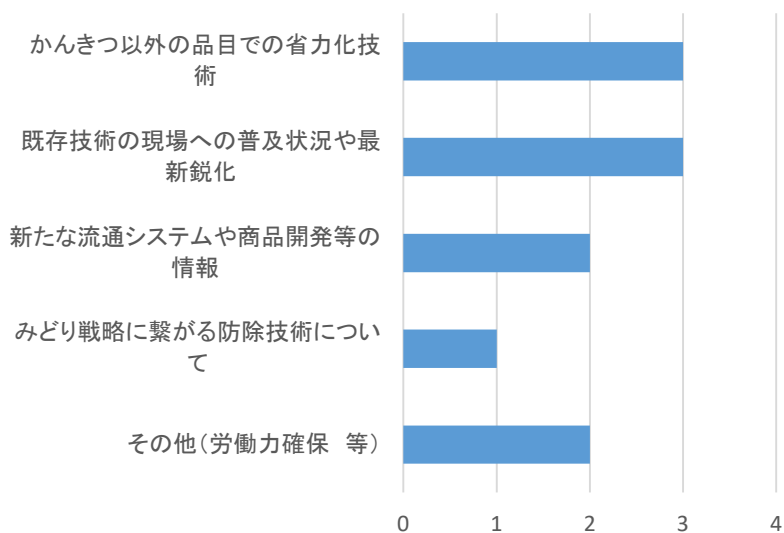
【Web方式での開催についての感想】

○「会場までの移動時間や旅費予算の節減等図られ効率的」「テキストもクリアで見やすく良かった」との回答が多く寄せられた。

○また、対面開催の場合、「意見交換」や「現地検討会開催」等のメリットが寄せられた。

○その他、「システムエラー」や「通信環境」等の課題が寄せられた。

次回セミナーのテーマや講師等について



【次回セミナーの開催に向け、テーマの提案や講師の推薦依頼】

○「かんきつ以外の他品目での省力化技術」や「スマート農業の現場での普及状況」について情報提供を求める提案が多かった。

○その他「商品開発」、「環境に優しい防除技術」、「労働力確保」等をテーマとする提案があった。

○具体的な講師に係る推薦はなかった。